



第40号

平成28年5月15日

むらかみ

市議会だより



【特集】代表質問	2～3ページ
一般質問	4～11ページ
委員会の審査報告	12～14ページ
第1回定例会議決結果	15～18ページ
議会の取り組み	18ページ
閉会中事務調査	19ページ
インタビュー	20ページ

市民の宝 輝く瞳

ちびっ子お雛さま

(村上駅)

春の恒例「城下町村上町屋の人形さま巡り」に合わせ、2年ぶりに「SL村上ひな街道号」がやってきました。3月20日の歓迎イベントでは、ちびっ子お雛さまや一日駅長さんが出発指示合図のポーズをとり、観光客の皆さんを見送りました。

7会派が臨む

3月定例会では、例年、新年度の施政方針・予算案に対し、会派代表議員による質疑「代表質問」を行います。代表質問の質疑時間は、会派所属議員の人数によって、各会派に配分されます。高橋市長が就任して初めてとなる28年度の施政方針と新年度予算に対し、7会派から代表質問の通告があり、質疑が行われました。(新年度予算案に対する委員会審査の主な内容は、12〜14ページをご覧ください。)

鷺ヶ巣会

(木村貞雄)

◎木村 貞雄 鈴木いせ子
片野 鉄雄 山田 勉
大滝 久志 大滝 国吉
渡辺 昌

問 TPPが本年2月4日に最終合意となった。これが順調にいくと国内総生産が10兆円の増になると示された。ところが農林水産関係では3兆円の減と示された。今後、本市の経済への影響が非常にあると思うが、市長はどのような考えか。

答 今後審査が進む中で前向きにそれに対する対策、今回策定した農林水産業の戦略的な施策を、市ができる範囲ですっかり取り組むことが重要であると考えている。

問 三面保育園と高南保育園の統合についての説明会の後、



三面地域の皆さんから館腰保育園との統合がよいという意見が多く出されたが、今後どのような計画を進めるのか。

(質問時間 52分)

問 新年度の予算編成で苦労された点を伺う。

答 苦労というよりも、いよいよこれからという思いが強い。具体的に見える形、即効性のある形で市民の皆さんに届くことが大切であるという思いで編成した。

問 目玉とする施策は何か。

答 全てが目玉だが、一番の課題は人口減少を含めた少子化であり、しっかりと支える仕組みづくりを全ての分野で作り上げた。病児保育施設は、行政からのメッセージとして、も大きなポイントだと考える。

(質問時間 39分)

清流会

(川崎健二)

◎川崎 健二 平山 耕
小林 重平 三田 敏秋

市民クラブ

(滝沢武司)

◎滝沢 武司 富樫宇栄一
小池 晃 本間 清人

問 人口減少に対する対策はどのように考えて進めるか。

答 難しい問題ではあるが、施策の中心の柱として全体的な視点でしっかりと向き合っていくつもりでいきたい。

問 市長公約の「ひとりひとりの幸せのために」を取り組むにあたり特に考えることは。

答 市民の世代によって幸せ感が違う面もあり、特化した方策よりもチーム力・総合的な視点からいねいな施策の構築が大切だと考える。

問 生活道路の拡充施策は。

答 緊急対応できる予算を配当してきたが、今後も機動力を生かして要望に応えたい。

問 職員の意識改革や行政執行のあり方は。

答 市長の目だけでは捉え切れない部分を職員全体のチーム力でカバーしていきたい。

(質問時間 39分)

高橋市政に

市政クラブ

(川村敏晴)

◎川村 敏晴 小杉 和也

問 山辺里保育園の未満児保育室の増設を計画した一番の理由は何か。

答 ニーズが多く、働く父母の方々への効果的な支援策を行うためである。

問 市独自の就農支援事業補助金は、国の制度より便利なようだが、支援内容は。

答 国では45歳未満で複合経営だが、市は61歳未満で単独事業を可とし、地元で就農意欲のある方3人を支援したい。

問 多くの素晴らしい中小企業支援策が提案されたが、全業者に情報が伝わるような対策をとってほしいが。

答 商工会・商工会議所の総会でも、市内業者へのご案内をお願いしているし、各事務局から各業者にご案内する方がより効果的であると感じている。

(質問時間 30分)

高志会

(尾形修平)

◎佐藤 重陽 尾形 修平

問 市長の選挙公約にもあった、切れ目のない行政運営について、どのように具現化されるのか伺う。

答 市単独の公共事業の早期発注により、国・県の予算執行までのつなぎとなるように取り組むし、住宅リフォーム事業も4月早々の募集を行いたいと考えている。

問 経済の活性化のためには、交流人口の拡大しかないと思いますが、担当課である商工観光課の業務量が多すぎて、観光交流事業に専念できていないと感じる。議会でも(仮称)観光振興議員連盟の発足に向けて取り組んでいるが、市長の考えを伺う。

答 29年度に向けて、組織改革も視野に入れて検討したい。

(質問時間 30分)

凜政の風村上未来

(長谷川孝)

◎齋藤信一郎 長谷川 孝

問 村上総合病院の移転については、今年度中に厚生連側と覚書を交わすとのことだが、用地取得の具体的な話まで進むのか。

答 32年の早い時期での開院が昨年5月の公表事項であり、それに向けて進める作業となれば用地取得についても動き出す必要がある。そのことを含めてこの後の全員協議会でお話をさせていただく。

問 旧市民会館を壊してスケートパークを地域産材を使用して新築することは、スケートボードのメッカとして若者の定住・交流人口の増加が期待される。その北側に隣接する民有地の活用についてはどのように考えているのか。

答 庁内で議論はしたが、スケートパーク敷地内の整備完了後に考えていきたい。

(質問時間 30分)

日本共産党

(竹内喜代嗣)

◎相馬 エイ 竹内喜代嗣

問 まちづくりにとって地域医療は不可欠。医療行政の権限は主に新潟県だが、村上市長には重大な責務があると思いが認識を伺いたい。

答 村上総合病院は村上市にわたっての基幹病院。同病院の移転新築の件は、最優先課題として取り組みを進めている。

問 安倍内閣によって厳しい医療費削減が行われている。駅周辺整備を延期・中止しても病院の移転新築を最優先にすべきだ。見解を伺う。

答 これをやるから、これが遅れるというものでない。まったく別のメニュー。しっかりと結び付けなければならぬ。

問 市長は、医師など医療スタッフ確保の先頭に立つべきだ。認識を伺いたい。

答 これまでもそのつもりでやってきました。

(質問時間 30分)

市政を問う!!

14人が
一般質問

2月26日・29日、3月1日の3日間の日程で行われた一般質問に14人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を掲載します。(質問順)

※全質問事項は以下のとおりです。

なお、紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。(一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。)

一
般
質
問
(1)

1 富樫宇栄一議員 5

1. 公共事業の発注方について
2. 協働のまちづくりについて

2 小林重平議員 5

1. 本市の基幹産業について
2. 健康長寿社会の推進について
3. 市長の目指す政策について

3 板垣千代子議員 6

1. 防犯対策について
2. 市の子育て支援について
3. 高齢者支援について

4 川村敏晴議員 6

1. 本市の適切な保育環境の在り方について
2. 市内公共交通体系の現状について
3. 国の平成28年度予算における森林吸収源対策推進について

5 渡辺 昌議員 7

1. 移住・定住促進の取り組みについて

6 竹内喜代嗣議員 7

1. 厚生連村上総合病院の新設・移転について
2. 住宅リフォーム制度の拡充について
3. 国保税の引き下げについて
4. 子育て支援の充実について
5. 村上市出身の人材がふるさとに帰り、貢献してもらう制度の創設について

7 大滝久志議員 8

1. 海岸保全について
2. 漁業振興について

8 滝沢武司議員 8

1. 「村上市立小・中学校の望ましい教育環境整備検討委員会」の答申について
2. 病児保育施設の建設計画について

9 鈴木いせ子議員 9

1. ふるさと納税について
2. 高南学校給食共同調理場の今後について

10 小杉和也議員 9

1. 医療・福祉の充実について
2. 新しい産業の創出について
3. 公共施設整備について
4. 電力入札について

11 片野鉄雄議員 10

1. 村上市内事業者の意見・要望について
2. 農商工連携・6次産業化について
3. イヨボヤの里開発公社の施設利用について
4. 管理不全の空き家対策について

12 本間清人議員 10

1. 学校給食について
2. 除雪作業について
3. 保育園について
4. 荒川総合体育館のリニューアル工事について

13 長谷川 孝議員 11

1. 岩船港の「みなとオアシス」認定について
2. 臨港道路の防犯灯の設置について
3. 耕作放棄地の利活用について

14 山田 勉議員 11

1. 人口減少問題対策について
2. 武道館建設について

一般質問とは？

一般質問は、議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告、説明を求めるものです。

定例会ごとに行われ、質問順は抽選で決定しています。

公共事業の発注方改善を



富樫宇栄一議員

問 地元の重要な産業である建設業界が厳しい状況に置かれている。業務が平準化できるような公共事業の発注、年度をまたいで事業を繰り越せる取り扱いや、年度当初から工事着工できるような事業発注が強く要望されている。市の取り組みを伺う。

答 建設業は地域のインフラ整備や維持管理等の担い手であると共に災害発生時の緊急対応等、安心して暮らせるまちづくりのために重要な存在と認識している。関係団体からも早期発注の要望を受けており、また、26年9月に閣議決定された「公共工事の品質確保の促進に関する基本方針」



市道の側溝改修工事の様子(塩谷地内)

でも発注・施工時期の平準化に努めることが、発注者の責務とされたところである。来年度は、市単独事業を中心に、4月当初に入札公告を行い、新年度早々に発注できるよう準備を進めている。

問 財務省は各省庁や地方自治体の予算執行の無駄を省き、効率的な執行のために、事業の繰越制度を奨励している。寒冷・積雪地の実情を踏まえて公共事業の繰り越しを拡大できるよう検討すべきではないか。

答 事業の工期は、その事業の完成により及ぼす効果からの判断も重要であり、事業の繰り越しは財務省の「ガイドライン」に基づき、現場の実情に則して判断している。発注のタイミングは事業者の皆さんの意向に十分配慮するよう指導している。

幸せを実感する行政運営

問 元気で魅力あるまちにするには、一次産業の活性化が必要であり、新卒者をはじめとする若者の雇用対策、中高年の就労の充実・強化と併せて後継者の育成が大切と思うが、市長のお考えを伺う。

答 農林水産業の各業態に合った支援のほか、本市の魅力ある農林水産物の販路拡大のため、地域資源を活かした6次産業化等の推進に取り組んでいる。今後1次産業への雇用、後継者育成に向け、資金面の支援等を行うていく。

問 本市の特別養護老人ホームの入所待機者は約430人。施設の充実



健康長寿社会を支えるデイサービスセンター

も大事であると同時に、健康長寿の推進が大切と思う。本市の健康長寿対策を伺う。

答 健康寿命を延ばすための「健康むらかみ21計画」を策定。妊娠前から高齢期までのライフサイクルに応じ、健康教育・相談、健康診査、訪問指導のほか、総合型地域スポーツクラブに委託して気軽に参加できるスポーツ事業を実施し、市民の健康維持・増進に努めている。

問 市長の目指す政策が、今日まで順調に市民の期待どおりに進んでいるか、市長のお考えを伺う。

答 順調か否かは判断が難しいが、「ひとりひとりが幸せを実感できる」ため、施策や事業を目に見える形でスピード感を持って取り組み、情報提供と対話を重ね、市民の期待に応える行政運営に取り組む。



小林重平議員

市の防犯対策推進は

問 28年度施政方針では、防犯灯の設置について計画的に整備を進めるとあるが、これからの防犯には、防犯カメラの設置が必要と考える。市では、防犯対策をどのように進めるのか伺う。

答 防犯対策については、これまで防犯灯の整備および警察等との連携を図りながら、街頭啓発やメールによる防犯情報の発信、また、市職員による防犯パトロールを実施している。防犯カメラの設置については、現時点での予定はないが、必要性については検討していく。



市内の店舗にある防犯カメラ



板垣千代子 議員

問 現在、未満児保育の申し込みが多いようだが、市の計画はどのようになっているのか。このままでは2人目、3人目は産めないとの声を聞く。市の子育て支援について伺う。

答 0歳児が99人、1、2歳児が447人受け入れは可能であったが、一部の保育園に希望が集中した等により全ての希望に添うことが困難である。3歳未満児に対しては、公立保育園のほか認定こども園などへの入園調整で対応している。

問 80歳を超えた高齢者の方々が自動車運転免許を自主返納することが多くなっている。しかし、通院の際の移動手段がなく困っているとの声を聞く。市はどのような支援を考えているのか伺う。

答 通院支援については、通院対応のりあいタクシーや、まちなか循環バス等をご利用いただきたい。

計画的統廃合で保育確保

問 山里辺保育園の増築後に入園希望者が増えることが予想されるが、対応策は。

答 増築は28年度中の完了計画であり、特に0歳児と1歳児の受入拡充のため、定員を20人増員する予定である。入園希望に対しては、きょうだい同士が同じ保育園に入園できるよう対応するが、0、1歳児には、資格のある保育士の確保が課題であり、今後保育園の統廃合を計画的に進めて保育士の確保に努めながら、二丁の高い未満児保育に対応していきたい。

問 あらかわ保育園も入園希望が定員超過状態だが、増築の予定は。

答 金屋保育園の内部改



川村 敏晴 議員



金屋保育園の未満児(ひよこ2組)の保育室

修を行い、新年度から未満児の受け入れ拡充について対応中であり、現段階であらかわ保育園の増築は考えていない。

問 坂町駅を利用して高校に通う生徒の保護者から、関川村が運行している一部活支援バスに便乗できないかと相談があるが、関川村と坂町駅間のルートにある高校生の希望者が乗車できる措置は取れないものか。

答 現在、「村上岩船定住自立圏構想」の協議の中で、実現に向けて許可に係る手続きや費用負担等の具休策を協議している。

問 利用できる時期はいつごろの予定か。

答 法的な手続きに時間がかかるため、28年度の後半ごろと考えているが、可能な限り急ぎたい。

移住・定住支援の拡充を



渡辺 昌 議員

問 移住・定住の促進は総合戦略の重要な柱の一つであるが、今後どのような取り組みを考えているか。

答 空き家バンクによる支援、遊休公共用地を活用した若者向け住宅地の提供や移住体験施設の設定等の直接的な支援のほか、子育て支援や教育の充実を図り、住み続けたいくなる総合的な環境整備を図っていく。

問 各自治体が移住・定住促進に取り組んでいる中、地域間競争の視点から、不可欠であるが、本市の総合戦略において、施策の独自性など十分な配慮がされているか。

答 競争よりも、本市の持つ魅力により磨きをか



地域おこし協力隊の活躍に期待

けて、オンラインのまちづくりを進めることが重要。総合計画審議会では、独自性という点で物足りないとの意見もあったが、本市の課題や目指すべき姿を的確に捉え、事業実施の効果に大きな期待感が持てる内容と考えている。

問 28年度にさらに2人が採用され、本市の地域おこし協力隊は全員で4名となるが、本市の地域おこし協力隊の今後の在り方は。

答 これまでの隊員個々による情報発信から、本市協力隊員全体として発信するSNSサイトを公開し、全国へと活動内容や地域情報などを発信していく。今後は、配属地域の活性化はもとより、地域資源や魅力の発掘・発信の強力な担い手として、また、本市移住者の先導者として、更なる活躍を期待している。

地域医療優先の施策を



老朽化が進む村上総合病院

問 地域医療を守るために駅橋上化より病院の新築、移転を優先すべきではないか。

答 駅周辺整備については、財源および社会情勢等を考慮し検討することになる。併せて厚生連の要望等についても考慮し、判断していく。

問 住宅リフォーム制度の拡充について、昨年の抽選に漏れた方を優先し、公平にしてみられないか。

答 申請額が予算額を超え抽選となった場合は、27年度に補助金の交付を受けてない方を優先したい。

問 村上市でも商店版のリフォーム制度を導入し、農作物の直売所などにも使えるような制度にする考えはないか。



竹内喜代嗣 議員

ないか伺う。

答 店舗部分のリフォームの補助については考えていない。

問 国保税を国の補助金や財政調整基金を利用して、1世帯1万円引き下げできないか。

答 医療給付費用額の増額等もあり、引き下げについては考えていない。

問 子ども医療費の窓口負担をなくすることはできないか。

答 来年度から県の助成が交付金化され、増額も予定されていることから、引き続き制度拡充の検討を進めたいと考えている。

問 村上市出身の人材が故郷に帰り、貢献してもらう「ふるさと応援隊」制度を創設する考えはないか。

答 専門的知識やノウハウを持つ人材を活かせる仕組みを研究したい。

砂浜の減少への対策は



出漁準備の様子(寝屋漁港)

問 最近の異常気象が、海面の上昇によるものか、砂浜は年々減少し、道路や人家まで海水や砂が飛散してくる。どのような対策をしているか。

答 現在、県では寒川海岸、瀬波海岸の人工リーフ、離岸堤等の整備や災害復旧を進めている。

問 現在改良を行っている箇所の進捗状況はどうなっているか。

答 寒川海岸の離岸堤は、全体計画5基のうち北側の1基が28年度で完成予定。瀬波海岸の人工リーフは、全体計画6基のうち南側の4基が完成している。



大滝 久志 議員

問 今後の計画はどうか。

答 寒川海岸、瀬波海岸、塩谷海岸など地元からの強い要望もあるので、早期に事業着手ができるよう県に要望していく。

問 年々漁業就業者は減少し、高齢者の割合が高くなっている。それに伴い漁船も古くなっており、漁船漁業の生産力は今後も落ち続けることが懸念される。漁業・漁村の6次産業化で、水産物や漁村に新たな付加価値を付けるべきと思うがどうか。

答 水産物の付加価値付けとして安全・安心な漁獲物の提供と鮮度向上を目的として、桑川漁港に消浄海水導入施設の整備を行っている。

また、漁業・漁村の6次産業化については、補助金を活用して、担い手となる人材育成に取り組んでいく。

学校教育の環境整備を



滝沢 武司 議員

問 先に整備検討委員会が答申した「村上市立小・中学校望ましい教育環境について」の概要を伺う。

答 子どもたちの将来を見据えて、望ましい学校規模としてクラス替えのできる1学年2学級、1学級20人以上を目安にすることが望ましい。

問 具体的な方策では、どのような留意点が述べられているか。

答 ①地域の合意形成を、②緊急性の高いものから早期に取り組む、③旧市町村を越えた統廃合は行わない等、5点について述べられている。

問 答申書の留意事項の中に「学校統合を進めるにあたっては、合併前旧



複式学級の教室風景(上海府小学校)

神林村の学校統廃合に関する答申を十分尊重すること」とあるが、どんな答申内容であったのか。

答 19年10月23日付で神林村教育委員会に出された「答申」には「22、24年をめどに村内5小学校を2校に統合。平林小と砂山小を砂山小学校へ。神納小・神納東小・西神納小を西神納小学校へ統合」とある。

問 今後、市教育委員会が早急に取り組む必要のある点は何か。

答 子どもたちの成長を促し、十分な教育効果を上げるための複式学級編成校の統合と考えている。

問 答申書を受けて、市教育委員会として今後の取り組みを伺う。

答 貴重な答申を尊重しながら、本市にとって望ましい教育環境のあり方を示す具体的な「教育環境整備計画方針」を3月末まで提示したい。

ふるさと納税で地域生かせ



鈴木いせ子議員

問 本年1月末現在のふるさと納税の金額は。

答 7636万4102円である。

問 寄付金に対するお礼品のベスト5は何か。

答 1位が鮭で、2位が地酒、3位が村上牛、4位が米、5位がベーコン・ソーセージとなっている。

問 岩船産コシヒカリが1位に入ると思っていたが、1位の鮭の半分の金額だった。これは棚田米・特裁米にこだわっているからではないのか。一般コシヒカリをもっとPRしては。

答 岩船産コシヒカリを返礼できるように農協とも相談したい。今後は、返礼品の内容の充実に力を入れ、本市物産の魅力

をより発信できる新しいカタログの作成を進める。

問 28年度当初予算では、ふるさと納税寄附金の予算額を1億円としているが、大幅に上げた根拠は何か。

答 予想を上回るご寄付をいただき、本市の物産品の持つ全国に誇れる魅力を再認識したので、本年度の実績を勘案して予算計上した。

問 高南学校給食共同調理場の今後について伺う。

答 今年度は耐震化工事と冷房設備設置工事を11月末までに終了している。今後は、朝日地区内にある塩野町学校給食共同調理場と統合して、朝日地区学校給食共同調理場(仮称)として新築することとしている。なお、実施時期については、村上市第2次総合計画に搭載して進める。



一般コシヒカリもPRを(お礼品カタログより)

病児病後児保育は必要だ



小杉 和也議員



敷地の一角に病児病後児保育施設ができる県立坂町病院

問 子育て支援の一環として、子どもが病気になったときに仕事を休めない保護者を支援する病児病後児保育施設をどのように設置するのか。

答 県立坂町病院の一角をお借りして、利用定員4人、建築面積約110㎡、29年4月開院を目指している。

問 新築される村上総合病院にも病児病後児保育を設置すべきで、山北地区にも必要なのではないか。

答 村上総合病院に設置をお願いしているし、山北地区にも設置したい。
問 農作物被害を及ぼすイノシシな

どの対策として、ジビエ料理(狩猟で得た野生鳥獣を使った料理)で地域活性化できる解体処理施設を造ったり、タンパク質を制限されている人が食べることが多い低タンパク米の製造などで、新しい産業の創業支援や研究をすべきではないか。

答 28年度、対象鳥獣にイノシシも加えるし、米も新たな切り口に創意工夫を活かして取り組む。

問 農林水産業、健康・福祉・医療の商品ニーズが高まっていくので、先を見据えた戦略が必要ではないか。
答 付加価値をつける商品開発の可能性について研究していく。

問 公金で支払う電気料金削減のために、電力入札の導入を取り入れてはどうか。

答 来年度の早い時期に入札を行うことで準備を進めている。対象施設は小・中学校、スポーツ施設、庁舎などを考えている。

生活基盤の確立こそ

問 市内企業1000社アンケートの生の声が、28年度の「活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり」の事業にどのように反映されているか。

答 既に実施している事業もあるが「販路拡大きっかけづくり事業」や「産業元気づくり事業」、「人材育成サポート事業」、「女性就労環境向上事業補助金」などである。

問 生活基盤が確立できる経済状況を作り上げることが現下喫緊の課題と考えるが、物産展や見本市、展示会などへの参加助成は。



「活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり」
村上市を日本一の「鮭のまち」にしよう



片野 鉄雄 議員

答 販路拡大きっかけづくり事業で対応したい。

問 昨年10月に都内のホテルで「村上観光・食材PRプレゼンテーション」を開催したがその状況と今後の方策についてお伺いする。

答 都内で行った村上食材プレゼンテーションは、都内の飲食業・ホテル業者等44社を対象にアピールし好評であった。また今年2月には県内を対象に食材プレゼンテーションを行い、94人の出席があり好評を得た。今後は出席者からの意見等とりまとめ、引き続き、都内や県内その他の圏域にも市内食材のPRと商談会を中心に開催をしていく。

問 イヨボヤの里開発公社が管理する施設の利用者が減少している。イノベーションとアイデアと営業努力が大切と考えるが。

答 今後担当職員一丸となってアイデアを出し合い努力をしていく。

坪根工業団地の交通緩和を



本問 清人 議員

問 坪根工業団地入り口の除雪体制は、どのようになっているのか。

答 坂道でもあり、凍結が予想される場合は、機械除雪と凍結防止剤の散布により対応している。なお、この坂道箇所については、以前に工業用水の取水に使用していた井戸を利用して、消雪パイプの設置が可能か、調査を進めている。

問 工業団地の渋滞は除雪の問題だけではなく、山辺里小学校の入り口の信号機にも問題があると聞く。インター方向から右折車がスムーズに曲がれるように矢印信号に変えていただけなのかとの声もあるようだ。

答 この件については状況把握しており、今年5月ほど現地調査をしている。信号機の問題も、商工観光課から警察署の方にも要望し、協議してもらっている。交通量の調査も必要と考えているので、今後さらに研究していく。



村上市工業団地の入口

問 荒川総合体育館の前期・後期の利用状況を見ると、かなり利用されている。建て替えを予定していたものがリニューアルすることになったが、どのように対応するのか。

答 工事の計画が決まったわけではないが、半年くらいは利用できないと思われる。リニューアルのため施設を利用できない期間については、他の施設を利用できるように、各団体や利用者の方々と協議を進めていきたい。

岩船港周辺の整備は



長谷川 孝議員

問 今年認定申請する岩船港「みなとオアシス」について伺う。「みなとオアシス」に認定されると、岩船住民のよりどころである港や地域の魅力を全国に発信できるなど活性化が大いに期待される。登録に必要な施設として、「みなと」に関する情報、地域情報や観光情報を提供できる施設（パンフレット設置場所、観光地図、案内所等）が必要となるが、どこに設けることとなるのか。

答 現時点ではハードとして整備を検討するところまで至っていないが、粟島汽船発着所や直売所・荷捌き所周辺が「みなとフェスティバル」等のイベントの中心となって



「みなとオアシス」登録予定の岩船港港湾広場周辺

いることから、その辺りで工夫しながら提供できればと考えている。

問 2月7日に岩船まちづくり協議会による「いわふね夢カフェ」が開催され、岩船地区住民と新潟リハビリテーション大学・新潟看護医療専門学校との学生による意見交換会が行われた。その席上、岩船縦新町の学生アパートからセーブオンまでの臨港道路岩船港線歩道の防犯灯設置要望があった。この件は、以前から市長に要望しているところだが、学生そして住民の安全安心のため即対策をお願いしたいが、いかがか。

答 現場を見て、非常に暗いと感じ、担当課に設置の指示をした。今年度中に設置する予定である。

人口減少対策の取り組みは



元世界空手道選手権大会チャンピオン 林 晃先生の組手講習会(荒川地区公民館)

問 人口減少問題対策としての婚活イベント、男女の出会いの場や若い人たちの交流の機会の創出など、市では婚活事業を進めてきたが、事業の実施状況について伺う。

答 村上市婚活支援事業交付金を募集したところ、4団体7事業の申請があった。2月25日現在で5事業が実施され、男性61人、女性66人、合計127人の参加があり、カップル成立も19組と、前年度の実績を超えるものとなっている。

問 姉妹都市である鯖江市は、地方

都市が人口減少する中で、人口が増加している。姉妹都市鯖江市と村上市、どこが違うのか、市長の考えを伺う。

答 鯖江市は、市の面積が小さいながらも、国道や高速道路、JR等の交通の便に恵まれた中で、隣接する福井市や越前市のベッドタウンとなっている。本市とは、地理等の物理的な条件や取り巻く環境が異なっているが、積極的な情報交換を行っていききたい。

問 武道館建設について、20年に村上武道協会が主体となって、村上総合武道館建設委員会が発足したが、武道の振興拠点となる武道館の必要性について伺う。

答 武道館については、財源の確保や建設候補地など、諸条件が整いしだい、建設に向けた協議に入ることになっているので、引き続き検討していく。



山田 勉議員

委員会の審査報告

◎は委員長
○は副委員長

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報特別委員会で作成したものを掲載しています。

総務文教常任 委員会所管分

- ◎小杉 和也 ○渡辺 昌
- 鈴木いせ子 大滝 国吉
- 富樫宇栄一 佐藤 重陽
- 川崎 健二 三田 敏秋
- 滝沢 武司

◆村上市行政不服審査会条例 制定について

問 不服審査には法律の知識が必要ですが、審査委員3人はどのような方がなられるのですか。

答 県弁護士会、県行政書士会、関東信越税理士会からそれぞれ1人を考えています。

28年度一般会計予算

【歳入】

問 三面ダム等の電源立地対策交付金は対象となる地区の保育園の人件費に充てられて

いますが、それ以外の事業にも活用すべきではないですか。
答 ハード面での活用が主な補助金であり、ソフト事業での用途は限られています。検討します。

問 少子化の進み方をみれば、幼稚園と保育料の無償化を検討すべきではないですか。

まち協の今後の在り方は

答 保育園と幼稚園の無償化も検討されていますが、財政的に難しいです。将来的には別な手当等を検討しています。

【歳出】

・総務費

問 市税の約1%がまちづくりに交付金となっていますが、各協議会からの要望等はありませんか。

答 協議会の人口等により金額が決められています。少額の協議会からは増額の要望もあり、人口減少が進む過疎地



塩野町地域まちづくり協議会の取穫祭の様子(塩野町小学校)

集落もあり、体制の見直しが必要ではないですか。

答 消防団と自主防災組織の綿密な連携の検討が必要と考えています。

・教育費

問 教育情報センターの駐車場不足のため、新たに設ける駐車場の場所等は。

答 教育情報センターから南線にある畑の場所です。50台分ほど増えます。

問 奨学金貸付制度が特別会計から一般会計に移した理由は何か。

答 基金としての出し入れなど、制度運営をしやすくするためです。

問 荒川総合体育館は改築ではなく補強による改修計画となりましたが、設計等の予算が計上されていません。事業の実施は。

答 28年度は住民の方の意見を伺い、29年度から設計等の事業実施となります。

問 学校の図書室の図書が充実していないように見受けられます。図書の購入には学校

の要望が反映されているのですか。

答 図書購入費は普通交付税によるもので、各学校の学級数を基に配分されています。学校の要望によるものではありません。

◆計画策定 1件

◆協定の変更締結 2件

◆条例制定 3件

◆条例改正 12件

◆公有財産の譲与 2件

◆公の施設に係る指定管理者の指定 10件

27年度一般会計補正予算

27年度 特別会計補正予算

◆情報通信事業特別会計

28年度 特別会計予算

◆土地取得特別会計

◆情報通信事業特別会計

以上を中心に審査しました。

市民厚生常任 委員会所管分

◎本間 清人 ○板垣千代子
小林 重平 長谷川 孝
相馬 エイ 大滝 久志
木村 貞雄 小池 晃

◆村上市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

問 認知症の方が増加しているということですが、現状を伺います。

答 27年4月時点で、要介護認定の方が3850人、そのうち認知症の方が2600人、67・5%です。

28年度 一般会計予算

【歳出】

・総務費

問 マイナンバーカード（マイナンバーが記載された顔写真付きのカード）の普及状況を伺います。

答 3月8日現在で、マイナンバーカードの交付通知書の発送が1901件、そのうち交付済みのカードが1094

枚です。

・民生費

問 例えば、身体障害者手帳3級の方はタクシー券が交付され、4級の方でも肢体等不自由等の条件が合わない方は電動車いすの購入に1台約25万円自己負担が必要であるようです。人工透析治療の通院費の一部助成について、福祉の公平性の観点から考えを伺います。

答 人工透析治療の通院費助成については、人工透析を受

在宅介護の強化で安心を

けないと生命の維持が危ぶまれる方々であることから、補助するものです。

・衛生費

問 自殺率は若干減ってきているというものの、把握しきれない部分があると思えます。対策を伺います。

答 市内では、昨年14人の方が自殺で亡くなりましたが、昨年に比べると若干減っています。27年度からは、消防本部から自殺未遂者の情報を得て、保健師と情報を共有して見守りという形で対応してい

ます。

28年度特別会計予算

・国民健康保険特別会計

問 国民健康保険税の予算額が、27年度と比較して約1億円減額して予算計上されているものの、税率を上げてい

答 25、26、27年度と、経営良好ということで交付金の追加交付を受けたこと、また、精神障がい医療費の割合が

高いと対象になる交付金があり、それらの交付金が毎年交付されることが理由に挙げられます。

問 経営良好ということとは、しばらくの間、国民健康保険の値上げは予定していないのですか。

答 現時点では、国民健康保険税の税率を上げることとは考えていません。

・介護保険特別会計

問 第6期介護保険事業計画の中では、今までごおり特別



国民健康保険を担当する保健医療課

養護老人ホーム等の施設に関しては現状のままで、グループホーム等を3ユニット造ることです。認知症の方が増加する中、今のまま特別養

護老人ホームやグループホームを増やしていった場合、運営はどうなるのか、また、介護保険事業の財政状況は、今後どのようになりますか。

答 第6期計画では、4ユニットのグループホームを計画しており、介護保険料については県内でも下から2、3番目に低い金額です。27年度末で基金の保有が約4億9600万円あり、第6期計画では3億円の取り崩しを予定しており、2億円程度残る見込みです。これを次の

第7期計画の中で全額を実施事業の財源に充てたいと考えています。

問 在宅介護の強化で考えていることは何ですか。

答 できる限り住み慣れた地域で生活できるように、各種事業を展開することとして

問 第6期計画のミニ特養の料金は、共同部屋の場合、いくらになりますか。

答 第4段階の方の場合、ユニット型の方が1970円に対して840円となります。

◆条例制定 1件

◆条例改正 6件

27年度 一般会計補正予算

27年度 特別会計補正予算等

◆国民健康保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計

◆介護保険特別会計

28年度 特別会計予算

◆後期高齢者医療特別会計

以上を中心に審査しました

経済建設常任委員会所管分

◎片野 鉄雄 ○川村 敏晴
尾形 修平 平山 耕
山田 勉 斎藤信一郎
竹内喜代嗣

◆村上市中小企業振興基本条例制定について

問 今後の行動計画など、どのように考えていますか。

答 来年度から産業支援プログラムに基づく7つの補助金交付を行います。また、金融機関と連携した雇用創出型創業チャレンジ事業交付金や、女性就労の環境向上を図る交付金などを実施していきます。

27年度一般会計補正予算

・農林水産業費

問 農地中間管理機構への農地集積は、27年度はどれくらい進みましたか。

答 所有者から農地中間管理機構へ貸し付けた4〜12月分で、1999件、864筆、162.3haです。

問 間伐面積と森林作業道の延長は。

答 間伐面積は岩船森林組合の坪根地区で1.5ha、村上市森林組合で16.3haほか増加し、減少分を差し引いて全体で10ha増加しました。作業道は間伐の増加に伴い、村上市森林組合は770m、岩船森林組合で1000mほど増えました。

27年度特別会計補正予算

・蒲筍スキー場特別会計

問 今シーズンには小雪でオープンが遅くなりましたが、現在までの状況はどうですか。

答 1月16日に営業を開始し、3月6日に営業を終了しました。利用人数7668人で前シーズン比約2400人減。また収入は、26年度は1253万3072円で27年度は864万2965円でした。

28年度一般会計予算

【歳入】

・使用料及び手数料

問 勤労青少年ホームの使用実態が、16歳から40歳までの勤労者の福利厚生増進という趣旨と合っていないのでは。

答 実際に使用しているのは40〜60歳代の人が多く、20歳代の人は少ないです。他施設との均衡を図るため、来年度見直しを検討しています。

【歳出】

・農林水産業費

問 就農支援事業費補助金の対象が、国の制度は40歳まで

ですが、市の制度が最長66歳までの理由は何ですか。
答 定年退職後の就農希望者もあることから決定しましたが、高額年金所得者は補助対象外となります。

・商工費

問 住宅リフォーム事業に予算を超える応募者があつた場合、補正予算で対応しますか。

答 何件応募があるか解りませんが、上回る場合は抽選を考えています。

・土木費

問 歴史的風致維持向上計画

の対象となるのは、旧村上武家町だけでなく、海老江、塩谷、猿沢、小俣など全部を含めた認定になりますか。

答 市全域での計画認定になりますが、今回の事業対象は、寺町、町屋、旧武家町の重点地区となります。

28年度特別会計予算

・蒲筍スキー場特別会計

問 圧雪車修繕に500万円計上していますが、内容は。

答 営業前のオーバーホールに100万円が2台分、300万円は不時修繕経費です。26年度に購入した圧雪車も、オイル交換や整備点検に同様の経費が必要となります。

・下水道事業特別会計

問 汚泥の処分量が増えています。全量を市ごみ処理場で処理しているのですか。

答 全量を市ごみ処理場で処理しているのではなく、アクアセンター等に分けて処理しています。

一次産業へ支援はいかに

- ◆市道路線の認定 1件
- ◆条例制定 2件
- ◆条例改正 6件
- ◆条例廃止 1件

27年度 特別会計補正予算等

- ◆下水道事業特別会計
- ◆集落排水事業特別会計
- ◆簡易水道事業特別会計
- ◆下水道事業会計

28年度 特別会計予算等

- ◆集落排水事業特別会計
- ◆簡易水道事業特別会計
- ◆下水道事業会計

以上を中心に審査しました



下水道の汚泥が搬入される村上市アクアセンター(下渡)

平成28年第1回定例会 議決結果

平成28年第1回定例会が、2月23日から18日までの25日間の会期で開催され、市長提案77件、議会側提案の議員発議2件を議決し、閉会しました。

〔議会関係〕

議案番号	事 件 名	結 果	表 決
議会報第1号	定期監査結果報告について	報告	—
議会報第2号	財政援助団体監査結果報告について	報告	—
議員発議第1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
議員発議第2号	無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
議第1号	村上市監査委員の選任について（瀬賀良：新任）	原案同意	全会一致
議第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（小田 ルイ：新任）	原案同意	全会一致
議第3号	平成28年度村上市一般会計予算	原案同意	賛成多数
議第4号	平成28年度村上市土地取得特別会計予算	原案承認	全会一致
議第5号	平成28年度村上市情報通信事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第6号	平成28年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算	原案可決	全会一致
議第7号	平成28年度村上市国民健康保険特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第8号	平成28年度村上市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第9号	平成28年度村上市介護保険特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第10号	平成28年度村上市下水道事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第11号	平成28年度村上市集落排水事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第12号	平成28年度村上市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第13号	平成28年度村上市上水道事業会計予算	原案可決	賛成多数
議第14号	村上市過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決	賛成多数
議第15号	関川村との定住自立圏形成協定の変更締結について	原案可決	全会一致
議第16号	粟島浦村との定住自立圏形成協定の変更締結について	原案可決	全会一致
議第17号	村上市行政不服審査会条例制定について	原案可決	賛成多数
議第18号	村上市行政不服審査関係手数料条例制定について	原案可決	賛成多数
議第19号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第20号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	原案可決	賛成多数

議案番号	事 件 名	結 果	表 決
議第21号	村上市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第22号	村上市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第23号	村上市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第24号	村上市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第25号	村上市集落集会所施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第26号	村上市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第27号	村上市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第28号	村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第29号	旧村上市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第30号	村上市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第31号	村上市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第32号	村上市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第33号	市有財産の譲与について（福田）	原案可決	全会一致
議第34号	市有財産の譲与について（黒田集会所施設）	原案可決	全会一致
議第35号	公の施設に係る指定管理者の指定について（北田中集落開発センター）	原案可決	全会一致
議第36号	公の施設に係る指定管理者の指定について（北黒川集落開発センター）	原案可決	全会一致
議第37号	公の施設に係る指定管理者の指定について（大沢集落開発センター）	原案可決	全会一致
議第38号	公の施設に係る指定管理者の指定について（温出地域農村研修センター）	原案可決	全会一致
議第39号	公の施設に係る指定管理者の指定について（下大鳥ふれあいセンター）	原案可決	全会一致
議第40号	公の施設に係る指定管理者の指定について（堀ノ内ふれあいセンター）	原案可決	全会一致
議第41号	公の施設に係る指定管理者の指定について（府屋駅前ふれあいセンター）	原案可決	全会一致
議第42号	公の施設に係る指定管理者の指定について（間瀬集落センター）	原案可決	全会一致
議第43号	公の施設に係る指定管理者の指定について（小俣集落センター）	原案可決	全会一致
議第44号	公の施設に係る指定管理者の指定について（上中島集落センター）	原案可決	全会一致

議案番号	事 件 名	結 果	表 決	議案番号	事 件 名	結 果	表 決
議第45号	村上市消費生活センター条例制定について	原案可決	全会一致	議第62号	平成27年度村上市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	全会一致
議第46号	村上市学童保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第63号	平成27年度村上市情報通信事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第47号	村上市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第64号	平成27年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第48号	村上市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第65号	平成27年度村上市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第49号	村上市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第66号	平成27年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第50号	村上市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第67号	平成27年度村上市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	全会一致
議第51号	村上市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第68号	平成27年度村上市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第52号	市道路線の変更について	原案可決	全会一致	議第69号	平成27年度村上市集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第53号	村上市中小企業振興基本条例制定について	原案可決	全会一致	議第70号	平成27年度村上市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第54号	村上市歴史的風致維持向上協議会条例制定について	原案可決	全会一致	議第71号	平成27年度村上市上水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第55号	村上市農村公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第72号	村上市教育長の任命について	原案同意	全会一致 (無記名投票)
議第56号	朝日有機センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第73号	村上市教育委員会委員の任命について	原案同意	全会一致 (無記名投票)
議第57号	村上市下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第74号	損害賠償の額を決定し和解することについて	原案可決	全会一致
議第58号	村上市集落排水処理施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第75号	村上市新潟県厚生農業協同組合連合会村上総合病院移転新築支援基金条例制定について	原案可決	全会一致
議第59号	村上市上水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第76号	村上市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第60号	村上市簡易水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致	議第77号	平成27年度村上市一般会計補正予算(第10号)	原案可決	全会一致
議第61号	村上市産業等の活性化事業審査委員会条例を廃止する条例制定について	原案可決	全会一致				

各議員の賛否 賛否が分かれた等の前ページの網掛けの議案等について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の会計責任者

議案番号	議決 特記	鷲ヶ巣会						清流会			市民クラブ			日本共産党		市政クラブ		高志会		凛政の風 村上未来		賛否 結果				
		◎木村 貞雄	*鈴木 いせ子	片野 鉄雄	山田 勉	大滝 久志	大滝 国吉	渡辺 昌	◎川崎 健一	*平山 耕	※2 三田敏 秋	小林 重平	◎滝沢 武司	*富樫 宇栄一	小池 晃	本間 清人	◎相馬 エイ	*竹内 喜代嗣	◎川村 敏晴	*小杉 和也	◎佐藤 重陽	*尾形 修平	◎齋藤 信一郎	*長谷川 孝	板垣 千代子	賛 成
議第3号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第5号	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	○	※3	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第7号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第8号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第9号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第10号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第11号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第12号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第13号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第14号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	※3	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第17号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第18号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第19号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第20号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第21号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第22号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第23号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第24号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第27号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第28号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1
議第29号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※3	×	○	○	○	○	○	○	○	21	1

- ※1 可決：全員賛成または賛成多数により可決、同意、承認、認定、採択等と議決したもの
否決：賛成少数または賛成なしにより否決、不採択等と議決したもの
- ※2 議長は地方自治法第116条の規定により表決に参加しません。
- ※3 相馬エイ議員は欠席したため表決に参加しませんでした。

可決 議第3号 平成28年度村上市一般会計予算**反対討論 竹内喜代嗣**

駅周辺整備を延期・中止しても病院の移転新築を最優先すべきです。17億円の橋上駅建設は止めて、高校生に希望を与える給付型の奨学金制度を創設し、また、市長を先頭に医師の招へいを図るべきです。資料によれば合併特例終了時の交付税は、見込みより多く入ることがわかりました。合併時から人件費は、18億円も減らしています。5年後の交付税減額と1億円しか違いません。学校給食費半額化など暮らし応援が求められます。

賛成討論 滝沢 武司

今後の市政には、急速に進む人口減少、日沿道早期開通、厚生連村上総合病院の移転新築、岩船沖洋上風力発電の建設、急激な高齢化や障がい者への支援、子育てや保育園・小中学校の充実と対応、活気あるまちづくり、市民生活の一層の向上など、多くの課題が見られます。これらの解決のために、市長の強力なリーダーシップと全職員の英知と積極さを結集し、財政の無駄や無理を省き、市民のニーズに的確に応えられることを期待します。

賛成討論 小林 重平

高橋市長にとって、村上市の発展と市民の幸せを願い臨んだ、初めての新年度予算編成です。本市の基幹産業である農林水産業には、担い手支援、農産物を全国へ発信、林業体験イベント開催、負担軽減による漁業経営支援、商工業においては昨年度評判が良かったリフォーム補助を倍増するなど、本市の経済を活性化するため取り組んでくれました。子どもたちや保護者のための未満児の対応、病児保育施設の建設も市民の期待に応える予算です。

可決 議第7号 平成28年度村上市国民健康保険特別会計予算**反対討論 竹内喜代嗣**

国の今年度保険者支援金、全国では約1664億円で、一人5千円入ります。多くの市町村で、県の調整交付金の活用により、一般財源も含めて国保税を引き下げる傾向となっています。27年度の繰越額が確定する6月の国保税の本算定に向けて引き下げる必要があります。国保税の負担は極めて重くなっています。県内でも事例がすでにあるように、医療を受ける権利を抑制する短期証や資格証明書は止めるべきだということを強く表明します。

賛成討論 小林 重平

本市の国民健康保険税は、国保税収が減り続けていますが、加入者一人当たりの医療費は増え続けています。これは加入者が減っていることが原因と思われます。それでも国保税の徴収や補助金の上積み確保に努力されており、今年度も新たな保健事業に取り組もうと努力されています。国保税率は23年度以降据え置かれ、加入者負担についても十分配慮されています。これからも市民の健康のためしっかりと取り組みをお願いし、賛成とします。

可決 議第9号 平成28年度村上市介護保険特別会計予算**反対討論 竹内喜代嗣**

村上市の特別養護老人ホームの入所待機者は、25年10月1日の調べで589人、うち在宅で要介護3以上は180人にも及びます。村上市の介護保険3カ年計画の入所施設整備は最大112人分でしかありません。入所待ちの市民の切実な声に応える施策を求めて反対討論とします。

賛成討論 小林 重平

本市では地域支援事業として28年4月から、介護予防・日常生活支援総合事業を実施し、いわゆる団塊の世代がピークを迎える37年に向け、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する仕組みづくりを推進します。また高齢者の社会参加を促進するなど、介護事業に積極的に取り組みます。介護事業を進めながら、健康長寿を積極的に進めることをお願いして賛成とします。

陳情の審査結果

件名	陳情者	所属委員会	審査結果
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本 久美子	市民厚生 常任委員会	願意了承
無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の議会決議について（ご依頼）	無電柱化を推進する市区町村長の会 会長 山下 和弥（奈良県葛城市長）	経済建設 常任委員会	願意了承

人権擁護委員の方が決まりました



小田 ルイ 氏
(神林地区・新任)

次の方が推薦され、議会で同意されました。

監査委員の方が決まりました



瀬賀 良 氏
(新任)

次の方が議会で同意されました。

教育長と教育委員会委員の方が決まりました



教育長
遠藤 友春 氏

教育長と教育委員会委員の任期満了により、次の方が議会で同意されました。



教育委員会委員
大滝 豊 氏

日沿道の進捗状況を確認 高速交通等対策特別委員会

高速交通等対策特別委員会では、3月22日、日沿道（全体）の進捗状況・今後の予定、日沿道と道の駅について調査しました。

国は社会資本整備の持つスツック効果を強調し、高速道路の整備により民間投資も活発化され、企業進出と雇用が拡大されることとです。昨年の官邸における経済財政諮問会議では、本市の企業的事例が紹介されたそうです。



日沿道の進捗状況については、朝日温海道路の用地幅杭の打設未完了分については、

5月から杭打ちを行い、用地買収・トンネル工事にも28年度から取りかかるとのことでした。

道の駅の活用については、道の駅が地域の創意工夫の場となることから各地の事例紹介があり、今後、本市の観光地域づくりの拠点となり得る道の駅の「ゲートウェイ機能」の強化と、他の道の駅との連携強化が必要とのことでした。また、朝日温海道路のIC周辺土地利用基本構想については、日沿道の整備と合わせて推進していきたいとのこと。

新潟国道事務所長から「無料の高速道路であることを最大限、活かしてもらいたい。村上市周辺には近隣市村を含めて6つの道の駅がある。その強みを活かしていただきたいと思います」との提案をいただきました。今後、これらのことについて、さらに調査・検討を行っていきます。



市議会は会期が終了すると閉会しますが、各常任委員会では、閉会中に各所管の事務調査を行っています。

市政をチェック!

閉会中事務調査



ICT（情報通信技術）による教育の推進には、電子黒板やデジタル教科書等の整備が不可欠ですが、本市の導入率は国や県より低い状況です。電子黒板の設置場所もほとんどが特別教室であり、利用率も高くありません。

整備に掛かる費用や授業の在り方の変更などの課題はありますが、今後、ICTによる教育の重要性はさらに高まります。先進地の取り組みを研究し、積極的な整備の検討が必要であると認識しました。

総務文教常任委員会
ICTの活用へ
積極的な取り組みを



村上市社会福祉協議会および所管施設に対する市のかかわり方について現状を把握することを目的として、市長との意見交換を行いました。

市長からは「社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として誰もが安心して暮らすことができる団体と考える」、委員からは「介護に対する役割は非常に大きい」との意見がありました。

市も議会も、市民に対して大きな安心につなげたいと考え、取り組んでいきます。

市民厚生常任委員会
市民の安心に
つながる連携を



地元管工事業の現状を把握するため行った村上管工事業協同組合との意見交換を踏まえ、担当課から聞き取りを行いました。

同組合から緊急時の体制や技術的なもの等の提案について、担当課では、すでに同組合との協議が進められている部分もあるが、町屋造りの排水設備など特殊な基準等へ理解を求めつつ、引き続き協議したい旨の回答がありました。

今後、円滑な事業推進に向けて注視していきます。

経済建設常任委員会
管工事業の
円滑な推進を

委員会と調査日	調査事項
総務文教常任委員会 (2月2日)	電子黒板、デジタル教科書等の利用状況等について 電子黒板、デジタル教科書等を利用した授業状況
市民厚生常任委員会 (2月8日)	社会福祉法人村上市社会福祉協議会の体制について市長との意見交換
経済建設常任委員会 (1月18日)	地元管工事業の現状について



広報特別委員会委員が
おじゃましました！



村上をエンジョイしています

ニコール ジェンティール (新町)

私はアメリカ合衆国ミシガン州の出身で、来日して、間もなく2年がたちます。村上小学校、山辺里小学校、岩船中学校、村上東中学校で外国語指導助手をしています。子どもたちはとてもかわいくて、授業がいつも楽しみです。

幼いころ、英語で放送していた日本のアニメ「犬夜叉」に夢中になっていました。本屋に行って、英訳版の日本の漫画や雑誌を探して読んでいるうちに、文化や歴史にも興味を抱き、日本へのあこがれが強くなっていきました。大学卒業後、悩んだ末に、語学指導等を行う外国青年招致プロ

グラムに応募し、日本に行く決心をしました。

村上に来たのは8月です。第一印象は田んぼが広がる風景と美しい山並の緑です。夏によくドライブする笹川流れの景色も、山の濃い緑に日本海のブルーがあざやかに見えて、とても気持ちがいいです。

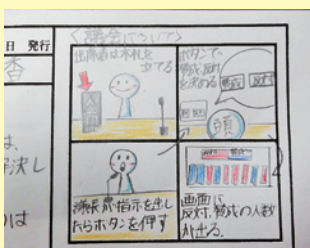
3月には友人と一緒に「町家の人形さま巡り」を楽しみました。いろいろな人と出会い、さまざまな文化に触れ体験しながら、村上での暮らしを楽しんでいます。

議会の一コマ

2月12日

金屋小学校6年生が、議会の仕事や仕組みについて、議場で学習しました。後日、児童の皆さんから「議員さんになったような気分でした」、「何十もある議題を賛成・反対で1個ずつ決めていくことなどたくさんを学びました」「予算300億円を市民の安全のために使ってほしいです」など感想をいただきました。

授業の中で、児童の皆さんは、今回の学習内容を基に、「これからの村上市をよりよいものにするためにはどうすればいいか」や「人口減少を止めるためにどうするか」などのテーマに取り組み、さらに学習を進めてくれました。



授業で児童が作った「市役所議会新聞」

平成28年 第2回定例会のお知らせ(予定)

5/23日	(月)	請願・陳情の提出期限 (正午まで)
6/6日	(月)	定例会初日(本会議)
10,13, 14,15日	(金),(月) (火),(水)	一般質問(本会議)
16日	(木)	総務文教常任委員会 一般会計予算審査特別委員会
17日	(金)	市民厚生常任委員会 一般会計予算審査特別委員会
20日	(月)	経済建設常任委員会 一般会計予算審査特別委員会
22日	(水)	一般会計予算審査特別委員会
27日	(月)	定例会最終日(本会議)

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。